

# 2021年度 第1回保育講演会

日時 2021年 6月4日(金) 参加者 礼拝堂 28名 ZOOM 51名

テーマ 子育ての愉しみ方/23のキーワード ～悩みのない子育てはない～

講師 元 横浜市立小学校校長

造形を盛り上げる会 会長

自然素材や身近な材料を用いて学びを創るグループ「ff;つちのこ」 主宰

佐々木 孝 先生

佐々木孝先生による講演会が礼拝堂にて、対面とZOOMでの配信で開催されました。  
佐々木先生による講演は2014年、2017年、今回で3回目となります。

「ff;つちのこ」のお名前の由来

先生のお名前、漢字の孝を分けて「土とノと子」からきているそうです。  
ffは、ファンタスティック・ファイト・フォルテッシモの頭文字のfです。

お話の中に出てきた先生の著書

「ヒラベッタイ・ザウルスうまれるよ?!」のお話は、  
小学校の校長先生をしてらっしゃるときに実際にあった出来事です。  
現在は絶版となっておりますが、図書館で借りられるそうです。



23のキーワードは、佐々木孝先生のことばコレクションです。

ことば(情報)に溺れないようにと、先生のエピソードを挟みながらお話が始まりました。

## チラシがみるみるうちに大変身!

まず事前に用意した新聞紙のチラシを手に持ち、先生に折り方を見せて(SHOW)もらいながら、折っていきます。三角に折り、どんな形か見立てていき、子供の見立てはすごいこと、お相撲さんのまわし、山、船と出てくるそうです。お話を聞きながら、折っていくとキャプテンクックの船に変身しました。船は航海に出ると、風が吹いてマストが破れて(チラシの上の部分ビリビリ…)大きなサメに会い、船の両側も無くなり(チラシ両側もビリビリ…)ブクブクと沈んでしまいました。沈んだ船を広げると、キャプテンクックが来ていたTシャツが浮かんでいました。(チラシを広げると、Tシャツの形!)知らずにちぎっていたチラシがTシャツに変身し、出席していたお母さんたちからは思わず声が上がりました。



## 1. 子どもは、わたしが絆創膏をしていると必ず「どうしたの？」と聞く

5、6歳までのうちにヒューマニティは完成するのではないか。靴を新しくしたり、髪型を変えたり、新しい料理を作ると「これどうしたの？」と好奇心・親切心にあふれている。

## 2. 子どもは、“○○たがる”どうぶつだ。

子どもはキッチンで鍋やフライパンを覗きたがる、野菜を切りたがるなど、どうつきあうのか。

ダメダメでは好奇心が消えやめてしまう。

母を見てこうするのかと感じ、時間をかけて順番に教えていくことで子どもの楽しいが膨らんでいく。その楽しいを研究し、いくつになっても続けていくこともある。

直線的に一つの事で大人になるのではない。様々な体験から得る好奇心は子どもの学びの原点となり、学び続けるチャンスへとつながる。

## 3. 子どもには、記念日がいっぱいある。

初めて歩いた、初めて自転車に乗れた、初めて○○といった記念日をカレンダーに記入すると、嬉しいこと楽しいことが増える。記念日を待つという楽しみも、『アルバムは写真だけでなく、ことばのアルバムも必要』。

## 4. 子どもは、明日が好き。

誰もしたことがない明日をさがす。明日という友だち、次のワクワクを友だちにする。

寝る前に少し先の明日のことを話してみる。明日の天気、今度こういうことをしよう、どこかへ行こう、子どもに語ることで希望を持ち、楽しみをさがす。(子どもは楽しいことを忘れない)

ちょっとした明日のコレクションを持つともっと楽しい。

## 5. ぼくの歳が ひとつ増えると ぼくへの関心は ひとつ減る

赤ちゃんが生まれた感動、ランドセルを買って一年生になった感動、結婚した時の気持ち…は薄れてあせていく。慣れることが当たり前になっていくので、この言葉を意識するだけでも楽しい子育てができるのでは。

## 6. 子どもにとって、8時30分は、8時15分から8時45分の間にある

子どもは時間のものさしがゆるやか。時間に幅があると思ってあげると父母も窮屈にならないで過ごせる。

## 7. ボクが友だちと喧嘩したことを 忘れようとしているのに

親たち大人たちはいつまでも覚えている

大人は、どうしたの？正直に？わかった？と子どもが分かったと言うまで聞いてしまう。

子どもはユーモアが好き。

先生の造形のエプロンには「へこたれないマーク」が書いてあり、それを子どもがタッチすると先生はペロを出していた。子どもたちは一ヶ月後に会ってもよく覚えている。そんなユーモアで関係性を作ることが出来る。いい関係ができると自然に手をつないでくれる。登園時間の子どもと手をつなぐ穏やかな時間でいい関係ができる。

8. 1 番目の情報が正しくて、2 番目の情報が間違っているとは、限らない

1 番目が正しいと大人になればなるほど思ってしまう。

子どもと大人の考えは違う。

そうかもしれない、まだ他の答えがあるかもしれないと思うゆとりが大事。

9. 図鑑のコスモスは、虫に喰われていない

図鑑にないからいないではなく、まだあるかもしれない＝ファンタスティックな世界を大切に、実際の揺れているコスモスに触れ、倒れてもたくましく起きてくるコスモスをみて育てほしい。

10. 分かることは、好奇心の発見。つくることは、好奇心の発明。

大人から教わることは消えてしまうが、好奇心を持って聞くとストンと入ってくる。

好きであることはエネルギー、本気につながる。

知りたいは本当の学び、自分で聞く力、続ける力となり、自らの発見は記憶、人生の宝物となる。

子どもたちは幼稚園で人生の学びの一步を歩み出している。

寄り添い付き添い、子育ての楽しみの一つにして。

11. 聞くことは、“思いやり”のはじまり 聞く・聴く・利く・効く…

話を聞くには、話をするきっかけ・タイミング・座って、となりで、手をつないでなどの姿勢が大事。

話の最後に「よく話が聞けたね」とひとこと添える。

12. ジャムが付いたパンを うっかり床に落としてしまったら、いつもジャムの付いてる方が下になってしまう

物事には自然の摂理、起こりうることもある。

人生には失敗、挫折、上手いいかないこともあるが、ずっと悔やむのではなく心のバネにしどう立ち上がるのかであり、自分に考える時間、知恵探し、挑戦することを与えてくれたのだと考える。

時間が解決してくれることもある。

13. 四季折々、人生折々を感じないでいると 心は、のっぺらぼうになる

四季折々(春夏秋冬、お正月、ひなまつり)、人生折々(誕生日、結婚記念日)で喜怒哀楽を感じて心がワクワク明るく過ごせる。

14. きまりには、きまりのきまりと きまりでない きまりがある

挨拶はきまりのないきまりだが、人と人を仲立ちしてくれる。信頼、コミュニケーションは豊かな生活をするための一つとなる。

15. 親父のことは、おふくろから聞いて育った

母から間接的に「〇〇だったんだよ」と聞くと、父はすごいんだなと、すっと入ってくる。また、父と母はよく話をしているんだ、と感じ、家庭のふんわりした温かさを感じる。父から母のことを話してあげるのも素敵。

16. 人間は、三世代で育ち合うどうぶつだ

人間は成人するまでに時間がかかる。祖父母と一緒に育ち合うことが必要だが環境がない。三世代の知恵、良さ、聞く時、聞かれた時の安心感は家族内だけではなく、近所の人たち、地域との交流、幼稚園でも同様に挨拶などから良い関係性を築くこともできる。

17. 分けることは、分かること。分かることは、分けること。

－でも、分けられないものの方が多い。

世の中には明日のことなど分からないことの方が多い。

分かるには5つの分かり方がある。①知的②身体的③価値的④人格的⑤芸術的。子ども時代に心が動く分かるを大事に。

18. 「ほめる」には、3つの不思議がある

褒める、誉める、讃める。他人を介してほめると効果的になり自分をよく見てくれていると思える。ほめるタイミングが大事。

19. 「優しいこと」は、「優れている」こと

20. 子育ては、アドリブだ。

毎日同じことはやってこない。ハプニングの連続。ポケットに色々な方法を。

21. 「苦もひとつない空」は、必ずやって来る。

365日を見つめると晴れている日の方が多い。必ず晴れることを信じて。

22. 職場や家族、そして仲間と良い関係であるには、たったひとつのことばに絞ることができる

敬意、敬うこと、この一言に絞ることができる。朝起きた時などどこかで思い出してみよう。

23. 本気ですれば 大抵のことができる 本気ですれば 何でもおもしろい

本気でしていると 誰かがたすけてくれる

誠実に本気に向かい合っていれば面白いことがある、大抵のことができる、誰かが助けてくれる。

講演の最後に、「今日の講演会のこと、キーワードのことをお友だちやお父さんと話し合ってください。良いヒントが見つかるかもしれません。皆さんも子育てしながら、自分の言葉で楽しく豊かなほんわかとした言葉を見つけてもらえたら」とお言葉をいただきました。

(アネモネ広報委員 尾登陽子、佐藤めぐ美、松本亜由美)

## 参加された方から

率直な感想としましては、母としてもっと子供達の声に耳を傾け、寄り添ってあげなきゃいけないなと思いました。仕事に家事に子育てに追われていると、子供の気持ちを優先してあげられないことが多く、子供が一生懸命に考え行動したことを無駄にさえしてしまう可能性があるなど感じました。どんな時も子供の気持ちを優先するのは現実難しいかもしれませんが、心掛ければ少しは変わってくるかな？と思いました。そして子供が日々前を向いて成長しているところに、親が過去に拘って口出しするのではなく、一緒の目線になり一緒に成長していきたいと思いました。子供と自分の今までを振り返る、とても貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

### アネモネ白組 高尾泰地 母:瑞絵

以前、兄が登園していた時の講演会も参加させていただきましたが、今回もその時と変わらず、生き生きとキラキラした瞳で、子育ての楽しみ方をお話くださるつちのこ先生に、またパワーをいただき感謝しております。

「ファンタスティック」「ユーモア」を日々意識して過ごせたらいいなと思いました。来年、小学生になる息子ですが、息子の通学予定の小学校にも、つちのこ先生のような温かい校長先生がいてくださるといいなあと心から思いました。

### スイトピー赤組 真栄田 彩雨 母:沙希

素敵なお話をありがとうございました。

「子どもは明日が好き。」

自分は明日に予定ばかりを見ているなと考えさせられました。

ときどき今日のお話や言葉のコレクションを振り返り、子どもが明日に見ている希望や好奇心を、一緒に楽しめるような親になりたいと思いました。

### コスモス白組 大島航汰 母:茜

とても興味深い23のキーワードについて、お話を伺える日を楽しみにしていました。日々余裕がなく「子育てを愉しむ」という事を忘れがちになってしまっている事に気付かされました。根っこにある学びの原点「好奇心」を消してしまわないように、手を繋いでいられる穏やかな時間を大切に日々過ごしていきたいです。どれも心に響くキーワードばかりで、あっという間の時間でした。ありがとうございました。

### アネモネ白組 松本 将 母:亜由美

子どもたちと向き合う時間をもっと持ちたい気持ちになりました。ありがとうございました。先生のお話の中で出た、子どもたちはユーモア・ダジャレが好き…まさしく今我が家はダジャレブームが続いています。新しいダジャレを作り出そうと毎日兄弟で奮闘しています。子どもたちは情報が無い中、好奇心とユーモアで考え作り出そうとして、とても感心しました。子どもの好奇心を受け止め、親の私もユーモアを持ち、子どもたちに見せられるよう、また一緒に楽しむという気持ちを持つようにしたいです。

### アネモネ白組 綿貫 希海 母:恵

保育講演会 ZOOM にて参加させていただきました。ほぼ後半からの参加でしたが、23のキーワード「ハッとさせられる言葉がたくさんありました」のびのびと育てたいのにイチイチ注意してしまいなんだか思っていることとやっていることの違いにもどかしさを感じたり、どうしたらうまく伝えてあげられるのか悩みはつきません。でも、「苦もひとつない空」は、必ずやって来る。を信じて頑張っていきたいです。ありがとうございました。役員の皆様お疲れ様でした。

### スイトピー赤組 西 彩花 西 結花 母:朱子

ニコニコと優しい雰囲気佐々木先生、ユーモアを交えたお話は楽しく勉強になり、このような機会をいただきありがとうございました。お話の中で好奇心が学びの原点、好奇心を育てるには子供が自ら学びを作っていく環境づくりとなるのですが、つついダメと言ったり、忙しさで向き合ってあげられなかったりで、日常の中にある学びの機会を親が止めてしまっていると気付かされました。「子育ての中で楽しい言葉を」と最後仰られていて、その日から娘が何かできた時に思い出し、いつもより優しい言葉をかけてみたりしました。心がけが続くよう頑張ります。

アネモネ赤組 巽 茉優子 母:ひとみ

本日は貴重なお話をありがとうございました。

私の学生時代の校長先生というと、近寄りがたく遠い存在でしたが、佐々木先生のような近い距離感で接してくださる校長先生っていいなあと思いました。

このところダジャレが大好きな娘に、佐々木先生の『ぼくらはみんな生きている』はピッタリだと思いました！ダジャレの質が高く(笑)、娘にはまだすこし難しいようですが、何度も繰り返し読んでいます。親である私の方が、言葉にクスッと笑い元気付けられ、素朴な版画に心癒されました。温かい絵本ですね。

冒頭のチラシ折りを娘に体験させてみました。「なにになに？」と早速興味津々です。折ってみると「どんぐりみたい！」。開いてTシャツになると、「わーっ」と感激！「クマにも見えるね」と。その後もTシャツになったチラシに絵を描き遊んでいました。子どもの発想の柔軟さと純真さに、心が動かされました。

娘は幼稚園で起こったことを目を輝かせて話してくれます。それは娘にとって、感動の連続が幼稚園で起こっているということがわかり、恵まれた環境にいることに改めて気付かされました。重要なのは、“最終学歴”ではなく、“最初学歴”。娘が最高の最初学歴をもてたことに感謝いたします。娘には幼稚園での思い出や、人生の地層として築かれたものを大切に、健やかに育ててほしいと思います。

佐々木先生からいただいたたくさんのお言葉に励まされ、改めて今に感謝することができました。“好奇心”が学びの原点であるということをお忘れず、娘の“何でもやりたがる”に、適宜向き合っていけたらと思います。そして、娘の言動に対してついムキになってしましますが、、ユーモアあふれる返しができるくらい心にゆとりを持てたら…と思います。。いろいろな意味をもち、私たちに考えるきっかけを与えてくれる“言葉”って素敵ですね。本日は本当にありがとうございました。

アネモネ白組 佐藤青葉 母:めぐ美

講演前に自分の小学校時代の校長先生を思い起してみても、堅いお話なのかなと思っていました。実際はやさしい語りで納得することばかり、あっという間の二時間でした。

特に印象に残ったのは「子供たちは明日がすき」というキーワードです。娘も少し先の予定を聞く事が好きです。「あと三回寝たら、ママも一緒の母の日のお集まりだよね」や「おやつは焼き芋にするって言ったじゃん」など、よく覚えて楽しみにして過ごしています。小さな楽しみを積み重ねることで、希望をもって過ごすことにつながるのだと、教えていただき、大切な事だと改めて思いました。希望をもって過ごせば乗り切れることもあると思っています。娘には、希望を持つことを大切にするように大きくなって欲しいです。そのためにも、家族でたくさん楽しみを作って過ごしたいなと思いました。

先生のように素敵な言葉コレクション、心に残すだけだと忘れてしまうことが多いので、書き留めて覚えておくことにチャレンジしてみたいです。

スイートピー白組 加藤凜花 母:聡子

これは動物にかけたちょっとした冗談なんですけど…と、照れながらお話しくださる、先生の謙虚さというか、愛すべきお人柄に毎回惹き付けられます、また何度でもお聞きしたいお話です。

三世代で子育てしてますが、10才越えたあたりから子供は全然私のいうことを聞かなくなりました。でも、私も親に子育ての事を言われても、いうことを聞きたくないです…。

見守らなければいけない人がある時、聴きに行く気力すらない時、珠玉のお言葉を自宅に居ながら届けて頂ける、なんて幸せな時代になったのでしょうか。講演会を企画して、中継してくださった関係者の皆様すべてに本当に感謝です。有り難うございました。

23のキーワードはどれも興味深く、うちのこ先生の楽しいお話しの中から、いろいろな事に改めて気がつきました。

わかっているもできていなかった事、何かを言い訳にしてやっていた事がたくさんありました。

育児を見直す良い機会になりました。

先生が仰っていたように、わたしもファンタスティックに、できるだけユーモアを持って、子どもと育ち合っていきたいです。

ありがとうございました。

スイートピー赤組 森本壮亮 母:綾乃

先生のお話を伺い、一人で子どもと向き合っていると落ち込みがちな育児ですが、楽しみたい！と思えました。日々の中に、親子で一緒にユーモアを見つけながら過ごしていきたいです。

子どもたちに対する、大きな愛情と優しさ、真に健やかに生きてほしいという願いが伝わるお話に深く感動致しました。  
改めて、佐々木先生のお話を聞く事により、自分自身のリセットにもなりました。  
子どもにとっての時間のお話は、内省する事が多く、1日の始まりの朝は、少しでも多くのポジティブ、ユーモアな言動を放ちたいと思います。  
ユーモアで夢あふれ、自由にファンタスティックな世界で過ごしている娘に寄り添える幸せを大切に、共にわくわくを作っていきたいと思います。  
日々、つい流してしまう事、当たり前になってしまう事に気付かせて頂ける機会を頂いた事に大変、感謝致しております。  
また、23のキーワードを頂く事ができ助かりました。  
今後、子どもの成長と共に訪れる折々で、読み返すことができ、ヒントを頂ける心強いメッセージとなりました。  
また、ZOOM配信して頂きありがとうございました。先生の表情やお話もしっかりと伝わり、笑いながら、感動しながら楽しく学びの時間を過ごさせて頂きました

**アネモネ白組 藤井嘉規 スイトピー白組 藤井智規 母:美由紀**

キャプテンクックのTシャツにヒラベッタイザウルスにボタンのあるエプロン・・・ユーモアに溢れた佐々木先生のお人柄に魅了されながら、私もワクワクした気持ちになりました。子どもはユーモアが大好き。しかしながら、子どもへの言葉がけに落ち込むことも多く、ユーモアの一つでも交えることはできなかったのかと反省してばかりの日々。でもそんな時にも心に寄り添ってくれる言葉が23のキーワードにはたくさん散りばめられていました。佐々木先生のお話を思い出しながら、ユーモアとワクワクでいっぱい幼児期になるよう、子どもと一緒に今を愉しみたいと思います。大変貴重な機会をいただきまして、どうもありがとうございました。

**アネモネ赤組 渡邊 蘭 母:綾子**

講演会の前に配布して下さった『23のキーワード』を読み、「ジャムのパン？」好奇心がくすぐられる言葉の数々に思わず考え込む私は、答え合わせを楽しみに当日を迎えました。  
始まってすぐに佐々木先生の穏やかで優しい語りかけに思わずにっこりしました。お話を聞きながらも、今度はずっと頷きっぱなしで、自分の子どもたちを見ているかのように、心にすっと入ってくる内容ばかりでした。特に、4『子どもは、明日が好き。』というキーワードが私は大好きになりました。つい先日も親子遠足がありましたが、カレンダーに「えんそく」を書くと毎日のように「あと〇日だね」「たのしみだな」を行く前から楽しんでおりました。『こどもたちはちょっと先のことが好き』本当にその通りだと思い、これからの長い夏休み、何でもないこともカレンダーに書き込んで「イベント」にして共に楽しもうと思いました。  
『子どもは好奇心旺盛でユーモアがあって根っこにはいつも誠実さを優しさがある』と教えてくださいましたが、つい自分の価値観を押し付けて、〇×で物事を決めてしまう自分の心にグサッと届きました。  
その晩、教えていただいた「今日の質問3つ(好きな食べ物、動物等)」を子どもたちに試してみたのですが、「じゃあ私の番ね、お母さんはね…」と回答するときには毎回のように「お母さんはこれが好きでしょ」と回答を当てられました。子どもたちはどんな場面でも私の好きなものを見ているのだなとあたたかい気持ちになりました。  
先生のキーワードはどれも愛にあふれた素敵なお言葉ばかりで、胸に響くようでした。  
『出逢いは消しゴムでは消せない』今日の出逢いを忘れません。お話を聞かせてくださり、ありがとうございました。



**アネモネ赤組 石原怜奈 母:みどり**

『子育ての愉しみ方/23のキーワード』についての佐々木先生の講演を拝聴し、改めて今までの娘との日々を振り返ると、新たな発見や思わず大きく頷いてしまうことばかりで大変有意義な機会となりました。中でも『⑧1番目の情報が正しくて2番目の情報が間違っているとは限らない』と『⑳苦もひとつない空は必ずやってくる』のお話は大変心に響くもので、佐々木先生の温かなお言葉によって、凝り固まった心が解きほぐされたような気がします。娘と一緒に『ぼくらはみんな生きている』も興味深く読ませて頂いております。ありがとうございました。